

## 設問

[問い1] 新たな質問、視点

- 1) 働き方が自分に合っていないんじゃないかと思われるのは、どうしてなのでしょうか。
- 2) SEで営業と一緒にお客様のところに行くのは、どういった役割なのでしょうか。
- 3) 間接部門と違って我々は出たり出なったりで合わない、というのはどうしてなのでしょう。
- 4) コミュニケーションが取れていないと全員が思っていたのと違うか、という点はどうしてなのでしょう。
- 5) 全然連係が取れないとお互い感じていたというのは、どういった点なのでしょうか。
- 6) コミュニケーションを取ることも重要性について小山さん(は)どのよう<sup>に</sup>考えていますか。

[問い2]

良かった点

事例IのCCt10 (相応しい・相応しくない)

理由: 冒頭のCLの働き方が「ちよとうまく行っている」というお話しから、ハイブリッドワークという働き方や仕事に対する思いを語っていたことが、信頼関係が構築できている。

悪かった点

事例IIのCCt10 (相応しい・相応しくない)

理由: ハイブリッド型の働き方について、繰り返して「中途半端につき」と語っていたCLに、その思いの背景を語っていた「どのような関わりが出来るか」内省が深まっていた点。

[問い3] あなたの考える相談者の問題

冒頭、働き方が「うまく行っていない」「自分に合っていない」と語っていたCLは、働き方や会社に対する思いを語っていた中で、ここ数年の社会情勢や会社経営層の考えは、働き方の変化を求められているCLの「従業員のことを考えているのかな」という会社に対する不満が見受けられる。また、リモートワークの良さを感じる反面、SEとしてリモートワーク中でも「叫び」出されスケジュールどおりに進められないもどかしさを感じており、優先順位がつけられていない点。

[問い4] どのようなやりとりで面談を展開するか

働き方が「うまく」もしくは変化する環境において、SEとして急な「叫び」出しにも対応する仕事に従事するCLを労い、信頼関係の構築に努める。そのうえで、変化の多い会社の働き方の中で、CLが「感じている「中途半端」な点」について更に問いかけ、思いを語っていたとき、会社の考えとの認識のずれについて一緒に考えていく。加えて自身の働き方において、内省を深めていくとき、SEとして会社に期待される点と、CL自身の働きやすさについて考え優先する点を考えていくとき、最終的にはCLが「合点」と感じる働き方が「前向きにとらえられるよう」支援する。